

第3章 コンスタンツァ港の現状と課題

3-1 コンスタンツァ港の港湾施設

コンスタンツァ港は17世紀末から段階的に整備された港湾であり、沿岸方向に約10km、沖合方向に約5.5kmに展開している。コンスタンツァ港は開発の歴史から北港地区と南港地区に分類することができる。北港地区は1987年、1908年、1967年の3回に分けて開発整備された旧港地区であり、RORO船、屑鉄、穀物、食用油、糖蜜、冷凍貨物、鉄鉱石、石炭、コークス、石油、セメント、磷酸塩、化学製品、コンテナ貨物、一般貨物などのあらゆる種類の貨物に対応することが可能である。一方、南港地区は1973年から今なお開発中の地区であり、既存のトランジット埠頭、RORO船埠頭及びフェリー埠頭に加え、新規コンテナ埠頭、穀物埠頭をはじめとする様々な港湾機能が新たに整備されつつある。またコンスタンツァ南港地区は、黒海ードナウ運河と直結されているため、トランジット拠点港としての重要な役割を果たしている。コンスタンツァ港平面図、コンスタンツァ港施設概要及びコンスタンツァ港貨物取扱能力を図3-1-1、表3-1-1、表3-1-2に示す。

表3-1-1 コンスタンツァ港施設概要



Characteristics	UM	North Port	South Port existent	Port final	Total
Total area	ha	789	2,837	2,837	3,626
of which: land	ha	484	610	1,300	1,784
water	ha	305	2,227	1,537	1,842
Breakwater length	Km	3.5	10.46	11.46	14.96
Quay length	Km	15.45	13.07	50.0	65.45
Number of berths		82	50	200	282
Depths in the basins	m	7÷14	7÷19	7÷22.5	7÷22.5
Traffic capacity	mil. tons/year	85	20	170	255
Ship size	DWTx1000	65÷80	165	250	250

Source : Annual Report 1999, page 4, コンスタンツァ港湾管理公社

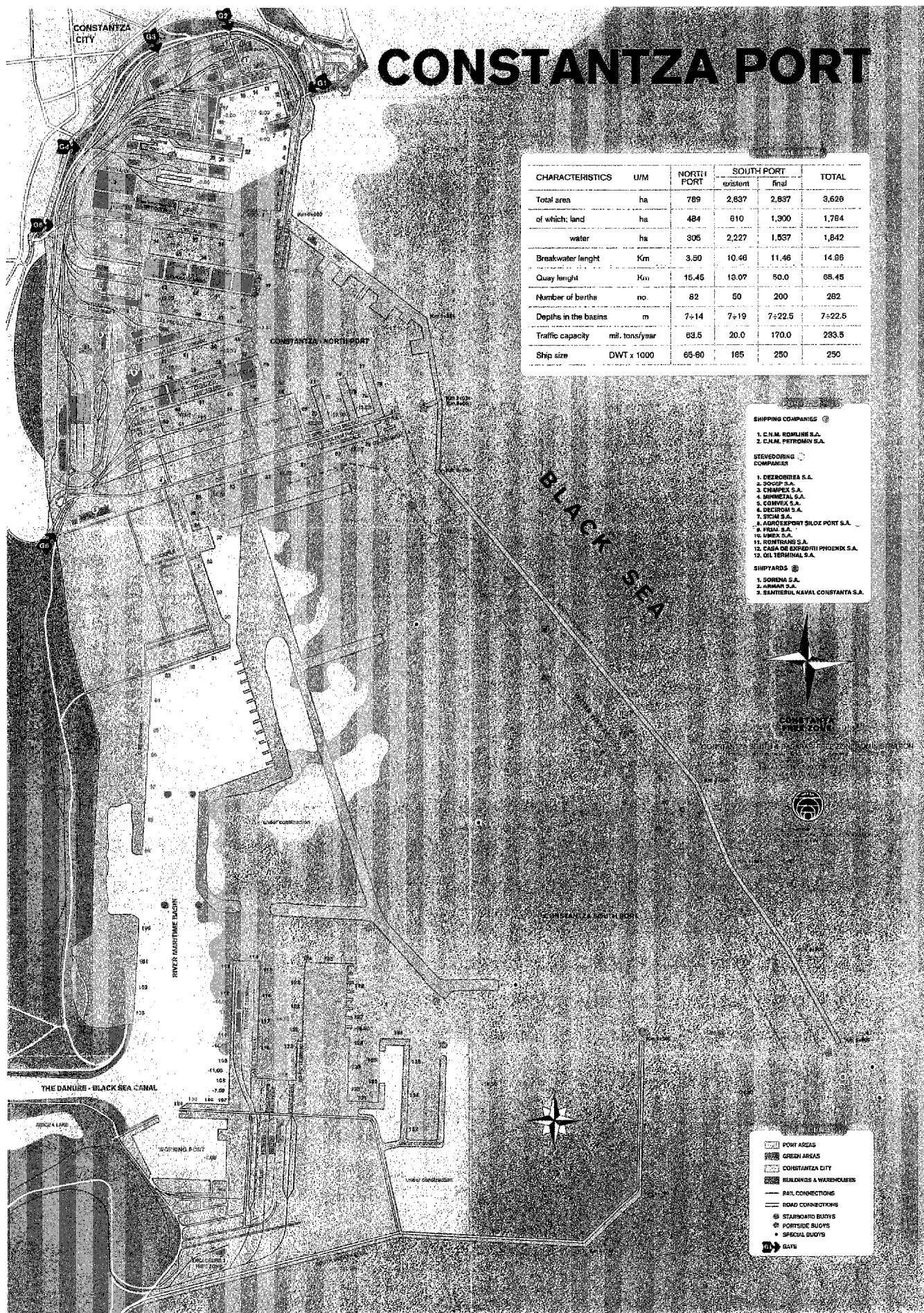


図 3-1-1 コンスタンツァ港平面図

Source : Constantza Port Map, コンスタンツァ港湾管理公社

表 3-1-2 コンスタンツァ港年間貨物取扱能力

品 目	岸壁数	岸壁水深(m)	取扱能力(100万トン／年)
石油製品	7	11.8～18.5	30,000
ドライバルク	10	11.8～18.5	20,000
コンテナ	1	10.2	630
穀物	8	7.7～11.1	2,700
セメント	2	11.2～12.8	3,700
金属製品	2	11.7～11.8	2,500
化学製品	8	10.5～12.0	8,600
一般貨物	67	7.0～14.5	13,110
RORO	5	11.7～14.5	1,000
鉄道フェリー	1	14.5	1,000
生鮮食料品	2	7.5～10.2	260
合 計	113	7.5～18.5	83,500

Source : Constantza Port Brochure 2000, page 18, コンスタンツァ港湾管理公社

(1) 鉄鉱石、石炭、コークス埠頭

鉄鉱石、石炭及びコークスは13の岸壁において、2つの専門の港湾運送事業者により年間約1,420万トンが取り扱われている(1999年)。右埠頭の鉱産物蔵置能力は450万トン。北港岸壁No.64-67及び南港岸壁No.80-84で取り扱われる鉱産物の一部は、ベルトコンベアにより南港岸壁No.94-96まで運搬されたあと、3,000トン級バージ船舶に積み替えられ、黒海－ドナウ運河を経て内陸部(ドナウ川沿いに立地するガラティ製鉄所など)へ輸送される。南港岸壁No.85は、バージ船舶が南港岸壁No.94-96に移動するまでに待機場所となっている。また、南港岸壁No.94-96から南港中央埋立地までの水域が、バージ船舶の船溜まりとなっていることが現地で確認された。また、鉱産物埠頭ヤード内に設置されているベルトコンベアには、おおいが設置されていないために、ヤード周辺全体への鉱産物の粉塵飛散が著しいため、何らかの環境的な対策が必要と思慮される。

表 3 - 1 - 3 鉈産物埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)		Facilities
64	215	11.5	MINMETAL	Gantry cranes 6x20 tf - 400t/h
65	215	11.5		Gantry crane MAN 500 t/h
66	215	13.5		Conveyor belts
67	215	13.5		
80	305	19.0	COMVEX	Gantry cranes 2x50 tf
81	307	19.0		Conveyor belts
82	292	16.5		Floating cranes 4x32 tf
83	250	14.5		Floating cranes 10x16 tf
84	250	14.5		3 Fork lifts - scrappers
85	355	14.5	MINMETAL	Barge loaders 2x700 t/h Quay crane 1x16 tf
94	239	7.0	COMVEX	Barge loaders 2x700 t/h
95	229	7.0		
96	239	7.0		Specialized berths for the loading of barges

Source : Annual Report 1999, page 5, コンスタンツァ港湾管理公社

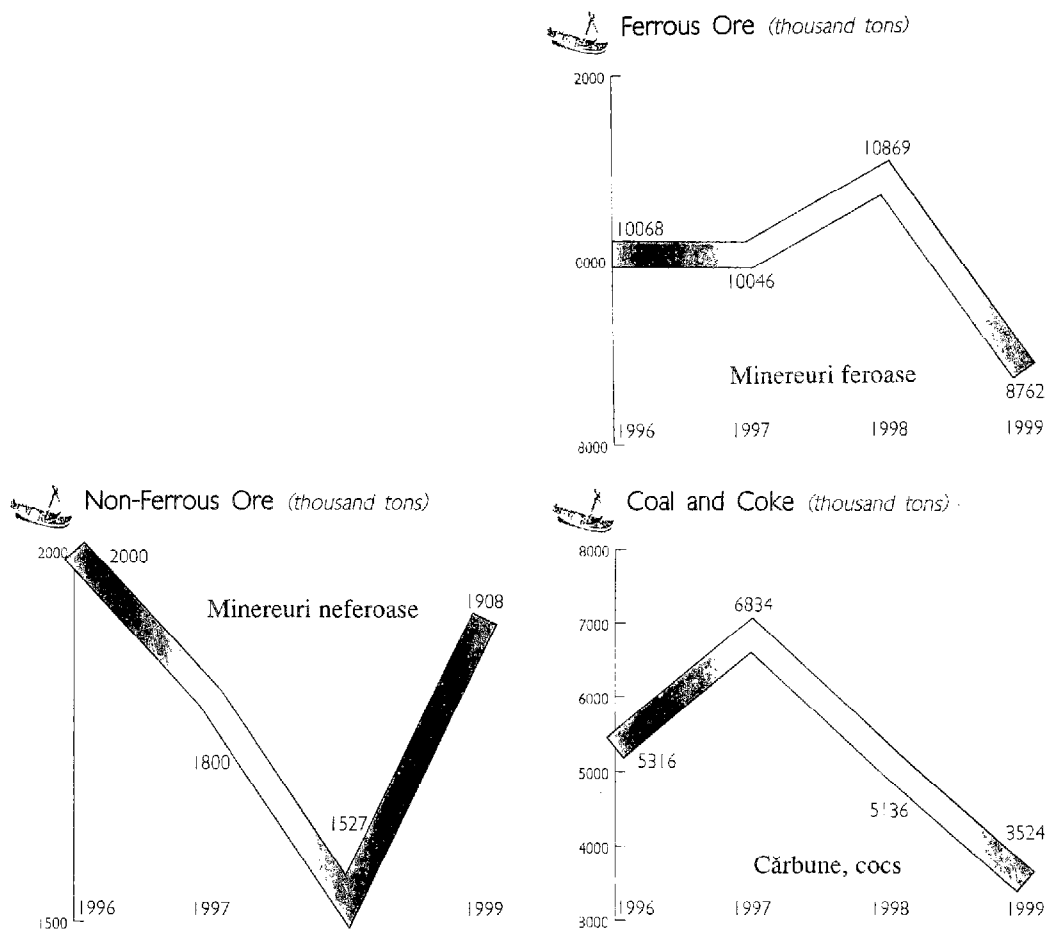


図 3 - 1 - 2 鉄鉈石、石炭及びコークス取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 11, コンスタンツァ港湾管理公社

(2) RORO 埠頭、フェリー埠頭

コンスタンツァ港の RORO 埠頭は、北港岸壁 No.0 の南部に 1 バース (延長 364m、水深－13m、ヤード面積 4.2ha、4,800 台収容可能)、南港岸壁 No.121 (延長 214m、水深－14.5m、ヤード面積 1.5ha、1,800 台収容可能) の計 2 バースからなるが、現在、RORO 船はコンスタンツァ港に寄港しておらず閉鎖されている。南港岸壁 No.120 に位置するフェリー埠頭 (延長 227m、水深－13.5m) には、鉄道が引き込まれており、欧州規格の鉄道貨車の利用を可能としている。ルーマニア運輸省は、黒海沿岸諸国の経済発展に伴う旅客船需要の増大を見込み (2005 年までに 1 万 5,000 人、2010 年までに 1 万 9,000 人)、北港地区 RORO 埠頭の反対側に新規フェリー埠頭を計画しているが、資金調達めどはない。北港の新規旅客船計画地は現在のところ、屑鉄岸壁となっている。また、ルーマニア運輸省はトルコ国とフェリー輸送に関する協定を締結し、サムスン港とコンスタンツァ港間のフェリー航路 (鉄道貨車対応) の定期化を進めているほか、3～4 年前に黒海対岸のグルジアとも RORO、フェリー (鉄道貨車対応) を相互に航行の協定を締結している。グルジアとの RORO、フェリー航路については、現在、立上げ的な航行をいくつか実施しているものの、グルジアとの鉄道ゲージの違いが主な原因で、貨車フェリーの往来はあまりない。

(3) 化学製品埠頭

化学製品は、北港岸壁 No.54-63 の計 10 バースで年間約 192 万トン取り扱われている (1991 年)。化学製品は、港湾運送事業者である CHIMPEX 社により、取扱貨物量のほとんどが取り扱われている。ヤード背後には磷酸塩とアパタイト用サイロ (貯蔵能力 3 万トン) 及び尿素用サイロ (貯蔵能力 2 万 5,000 トン) が設置されている。化学製品は袋詰めされた状態で取り扱われ、ヤード内にはこれを蔵置する 8 つの倉庫が設置されている (蔵置能力 4 万 8,000 トン)。同埠頭中央部には鉄道が引き込まれ倉庫内中央を縦貫しているため、袋詰め貨物は風雨にさらされることなく荷役される。同埠頭には大小計 23 基のクレーンが設置されているが旧式の荷役機材が多いため、新規荷役機械の導入などによる荷役効率の改善が今後の課題と考えられる。

表 3 - 1 - 4 化学製品埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)	Facilities	
54	234	13.5	CHIMPEX	Quay cranes 2x5 tf
				Quay cranes 2x6.3 tf
55	234	13.5		Quay cranes 4x6.3 tf
56	234	13.5		Quay cranes 3x6.3 tf
				Quay crane 1x20 tf
				Bunker 1x20 m ³
57	229	13.5		Quay cranes 2x6.3 tf
59	229	13.5		Quay cranes 2x20 tf
				Bunker 1x20 m ³
60	234	13.5		Quay crane 1x20 tf
				Bunker 1x20 m ³
61	234	11.5		Grains handling installations***
				1 x FTH crane type 4,000 t/day-bulk*
				1 x FTH crane type 1,200 t/day-packed products**
62	235	11.5		Gantry cranes for bulk unloading
				MAN type 2 x 20,000 t/day*****
63	219	11.5		2 x FTH crane type 6,000 t/day-bulk*****

Source : Annual Report 1999, page 6, コンスタンツァ港湾管理公社

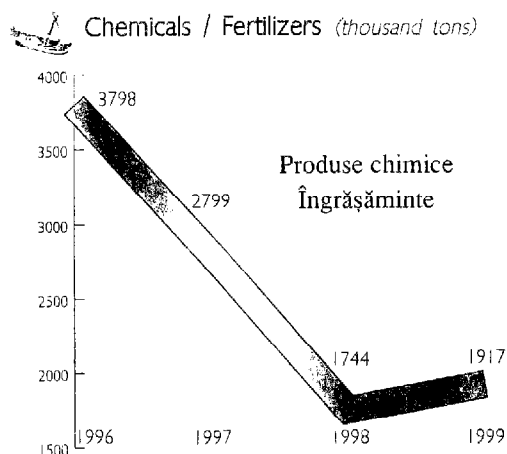


図 3 - 1 - 3 化学製品取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 11, コンスタンツァ港湾管理公社

(4) 穀物埠頭

コンスタンツァ港では、大豆、麦、ひまわりなどの穀物を年間約 243 万トン取り扱っている (1999 年)。これら穀物貨物は、北岸壁 No.17-18、No.24、No.31-32 (年間取扱能力 270 万トン) において荷役されている。北岸壁 No.17-18 の背後には 3 基のサイロが設置されており、その貯蔵能力は合計で約 9 万トン。岸壁 No.17-18、No.24 は、北港最深部に位置し、水深が - 8.3m しか確保できないため、ルーマニアの穀物輸出先である南ア、地中海、中東方面への航行船舶 (2 万 5,000 ~ 3 万トン級) が必要とする水深 (約 - 11 m) を満たしていない。また、岸壁 No.31-32 は水深 - 11.5 m を確保しているが、連結バージ船舶が穀物を北港地区から

黒海－ドナウ運河まで輸送する際に、波の影響によりコンボイが崩れるなどの危険が伴うため、最適な位置条件とはいえない。このような穀物輸送に係る課題に対処するために、ルーマニア運輸省は南港岸壁 No.134 などにより新規穀物埠頭を計画し、穀物取扱機能の南港への移転を検討している。南港新規穀物埠頭については、世界銀行が1998年に調査を実施している。世銀調査の結果、融資条件として①投資企業があること、②ルーマニア政府による政治的リスクに対する保証が提示されているが、現在のところいずれの条件も満足されていない。

表 3－1－5 穀物埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)	Facilities
17	112	8.3	AGRO EXPORT SILOZ PORT Lifting devices 8x150 t/h Underground & aerial conveyor belts
18	112	8.3	
24	137	8.3	
31	226	11.5	Quay cranes 3x6.3 tf Quay cranes 3x15 tf Floating elevators 2x200 t/h Pneumatic equipment 2x250 t/h
32	230	11.5	
33	218	11.5	

Source : Annual Report 1999, page 6, コンスタンツァ港湾管理公社

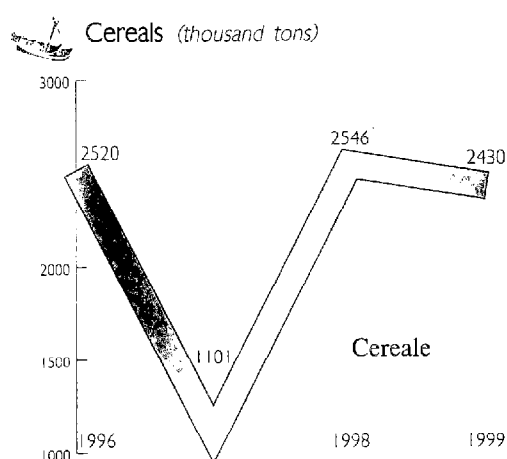


図 3－1－4 穀物取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 11, コンスタンツァ港湾管理公社

(5) セメント埠頭

セメントは北港岸壁 No.23、No.47-51、No.68 及び南港岸壁 No.122 で年間 257 万トン取り扱われている(1999年)。同港のセメント年間取扱能力及び蔵置能力は各々、370 万トン、4 万トン。岸壁 No.68 がセメント専用埠頭であるのに対し、そのほかはセメントのほか、木材などの建設資材も取り扱う。セメント専用岸壁 No.68 からは、袋詰めされたセメントが輸出される。南港岸壁 No.122 でもバージ輸送されたセメントを海上航行船舶へ積み替え、セメントは輸出されている。

表 3-1-6 セメント埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)	Facilities	
23	141	8.3	Quay crane	1x3 tf
47 -	224	13.5	Quay cranes	3x5 tf
48	237	13.5	Quay crane	1x5 tf
DECIROM			Quay cranes	6x6.3 tf
			Mobile cranes	2x16 tf
			Mobile crane	1x8 tf
			Quay crane	1x16 tf
49 -	228	13.5	Quay cranes	9x6.3 tf
50 -	235	13.5		
51	235	13.5		
68	208	13.5	SICIM	Loaders 2x250 t/h
122	214	14.5	DECIROM	Floating loaders 2x2,000 t/day bulk cement for barges

Source : Annual Report 1999, page 7, コンスタンツァ港湾管理公社

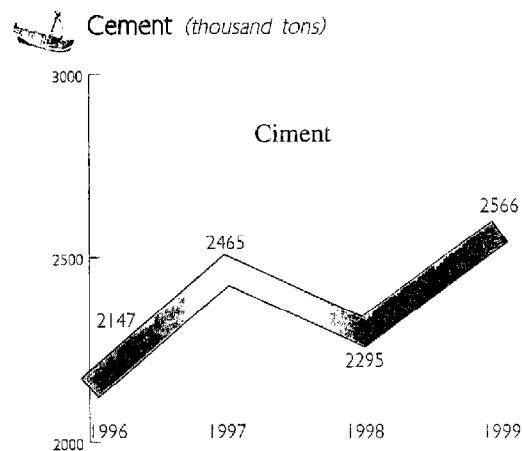


図 3-1-5 セメント取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 12, コンスタンツァ港湾管理公社

(6) 石油埠頭

石油埠頭では、原油、ガス及びベンジンを輸入し、石油精製品及び液体化学製品などを輸出している。年間取扱量は原油 326 万トン、石油製品 252 万トン (1999 年)。石油埠頭 7 バースの年間取扱能力は 3,000 万トン。

表 3-1-7 石油埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)	Facilities
69	327	13.5	5 coupling equipment
70	327	13.5	12" Woodfield type
72	327	13.5	1 coupling equipment
73	329	13.5	16" Flexider type
75	326	14.0	2 import-export equipment for chem. & petrochem. products 4-6"
76	326	14.0	2 gas-oil bunkering equipment 4-6"
79	394	19.0	5 ballast equipment 4-6"

**OIL
TERMINAL**

3 TFAS fire fighting equip., water pipe
3 Silvani, TFAS fire fighting equip.
fire fighting boat CHIMPEX
pollution fighting boat INC
600 & 400 m anti pollution barrages.

Source : Annual Report 1999, page 7, コンスタンツァ港湾管理公社

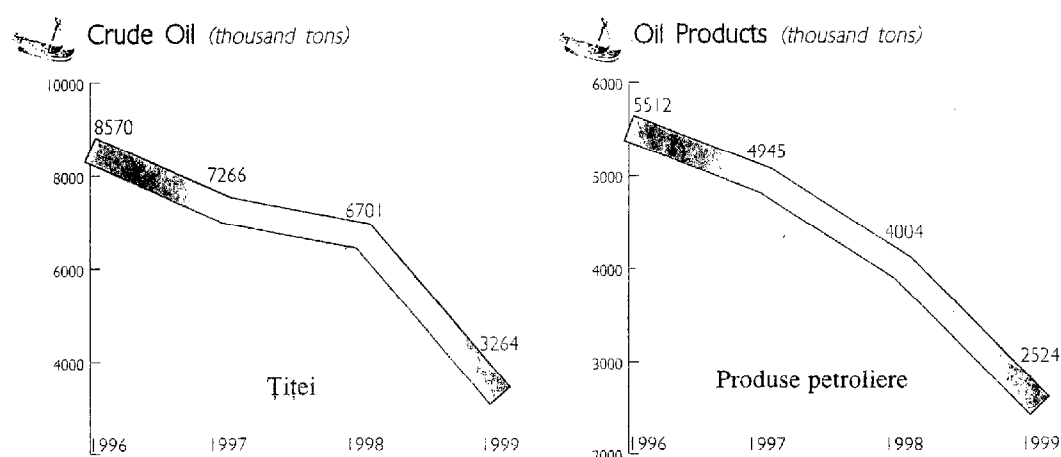


図 3-1-6 石油取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 12, コンスタンツァ港湾管理公社

(7) 一般貨物埠頭

コンスタンツァ港では計 69 バース (水深 7.0 m - 14.5 m) の一般貨物で年間 1,311 万トンの一般貨物を取り扱うことが可能。同港における 1999 年の一般貨物取扱実績は 559 万トン。

表 3 - 1 - 8 一般貨物埠頭施設概要

Berth	Length (m)	Depth (m)	Facilities	
1	120	11.5	DEZROBIREA	Quay cranes 2x20 tf
2	120	11.5		- " - 2x6 tf
3	120	11.5		- " - 4x10 tf
4	120	11.5		- " - 2x5 tf
5	120	11.5		
6	101	11.5		
7	98	11.5		
8	115	9.0	PHOENIX	
11	138	8.3	DEZROBIREA	Quay cranes 3x3 tf
12	141	8.3		- " - 2x3.2 tf
13	122	8.3		- " - 6x3 tf
14	122	8.3		- " - 2x5 tf
15	138	8.3		
16	106	8.3		
20	125	8.3		
19	113	8.3	FRIAL	Pumping unit for liquid products
21	125	8.3		Gantry cranes 1x5 tf + 1x3.2 tf
35	208	11.5	SOCEP	Quay cranes 3x6.3 tf
36	208	11.5		- " - 4x6.3 tf
37	208	11.5		- " - 4x6.3 tf
38	206	11.5	UMEX	Quay cranes 2x6.3 tf
				- " - 1x20 tf
39	200	13.5		- " - 2x6.3 tf
				- " - 1x20 tf
				- " - 1x50 tf
40	205	13.5		- " - 2x6.3 tf
				- " - 1x20 tf
41	208	13.5	SOCEP	Quay cranes 3x6.3 tf
42	208	13.5		- " - 4x6.3 tf
43	209	13.5		Quay cranes 4x6.3 + 1x20 tf
44	220	13.5	UMEX	Quay cranes 3x6.3 tf
45	224	13.5	MINMETAL	Quay cranes 1x5 tf + 1x16 tf
46	224	13.5		- " - 1x16 tf + 2x6.3 tf
53	219	13.5	FRIAL	Gantry cranes 3x5 tf x 32 m

Source : Annual Report 1999, page 8, コンスタンツァ港湾管理公社

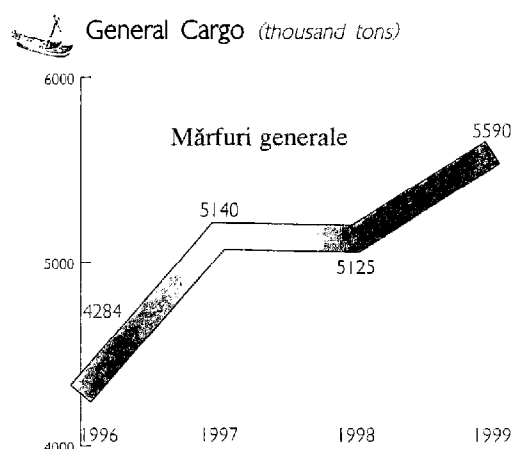


図 3 - 1 - 7 一般貨物取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 12, コンスタンツァ港湾管理公社

(8) コンテナ貨物埠頭

コンテナ貨物は北港岸壁 No.52 (延長 232 m、水深 - 13.5 m) においてのみ取り扱われている。マークス・シーランド、ジムロン (イスラエル) などの船会社は定期航路を運営している。同岸壁には、40 トンガントリークレーン 2 基、32 トントランステナー 2 基及びコンテナヤード (11.4ha、蔵置能力 3,000 ~ 4,000 T E U) が整備されており、コンテナ貨物取扱能力は約 63 万トンである。1999 年、年間 77 万トンのコンテナ貨物を取り扱われており、北港地区のコンテナ取扱容量は既に限界を超えており非常に混雑している。フェンスで仕切られたコンテナヤードだけではコンテナ貨物がさばききれず、ヤード外にもコンテナ貨物が蔵置されている。このような逼迫するコンテナ需要に緊急に対応するために円借款により南港地区に新規コンテナ埠頭 2 バースの整備が進められている最中である (円借款事業については、3 - 6 関連計画とプロジェクトの動向で後述)。

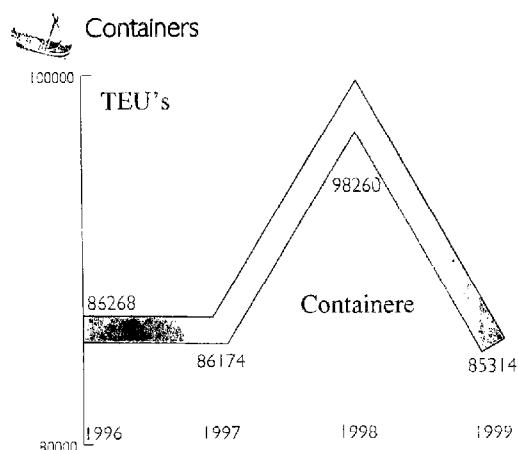


図 3 - 1 - 8 コンテナ貨物取扱量の推移

Source : Annual Report 1999, page 12, コンスタンツァ港湾管理公社

(9) 食用油、糖蜜、生鮮食品及び冷凍製品埠頭

食用油及び糖蜜は北港岸壁 No.19 (延長 113 m、水深 8.3 m) で取り扱われる。同埠頭では、7 つの貯蔵所に 2 万 5,000 トンの食用油及び糖蜜を貯蔵することが可能。野菜などの生鮮食品は北港岸壁 No.11 及び 2 つの冷凍倉庫 (面積 4,600m²、蔵置能力 1,500 トン) において取り扱われる。冷凍貨物は北港岸壁 No.53 (延長 219 m、水深 - 13.5 m、5 トンクレーン 3 基) 及び冷凍倉庫 (容量 1 万 7,000 トン、面積 2.4ha) にて取り扱われる。ルーマニア運輸省は、北港地区のコンスタンツァ市街地との近接性にかんがみ、北港地区を再開発する際には、果物や野菜などの生鮮食品や冷凍貨物の取扱機能の拡大を視野に入れている。

(10) 造船所

北港地区の第3、4、5地区には造船所がある。ここでは最大25万DWTの船舶建造及び最大15万DWTの船舶修理が可能。表3-1-9に造船所施設概要を示す。

表3-1-9 造船所施設概要

ドライドック	360m×58m、最大250,000DWT船舶の建造が可能。
ドライドック	360m×48m、最大150,000DWT船舶の修理が可能。
浮きドック	2基(15,000トン、8,000トン)
岸壁	延長2,400m、水深9m
クレーン	4基(480tf、120tf、50tf、16tf)
機械工場	

Source: Romanian Ports 1995, page 16, ルーマニア運輸省

(11) 南港中央埋立地

コンスタンツァ港南区地区には南港中央埋立地がある。南港中央埋立地では、黒海－ドナウ運河の掘削時に発生した土砂を受け入れた実績がある。現在は、運河からの浚渫土砂は受け入れておらず、コンスタンツァ北部のドブロジャ地方からの掘削土、ブカレスト－コンスタンツァ間の高速道路建設から発生する土砂、北港地区浚渫土砂などが投入されている。南港中央埋立地埋立事業では、護岸で仕切られた埋立水域に土砂が投入されなく、埋立水域の周辺部から内側に向かって土砂が投入されるため、南港中央埋立地には護岸というものが存在しない。このように埋立地盤が海面に直接さらされている状況にある一方で、南港中央埋立地の浸食対策は全く施されていない。また、ルーマニア運輸省は、現在及び将来の南港中央埋立地法線に係る具体的なコンセプトを有していない。

ルーマニア運輸省は、南港中央埋立地に液化天然ガス埠頭開発を構想しており、事業参画に関心を示す企業もあるものの、企業からの投資が実現しないため、具体的な事業は進んでいない。また、ルーマニア運輸省は、事業の進捗状況にあわせ、南港中央埋立地へ道路及び鉄道を引き込み、アクセス橋梁を建設することを検討している。現在のところ、液化天然ガス埠頭以外に、南港中央埋立地の土地利用計画はない。

(12) 外郭施設

コンスタンツァ港の外郭施設は、北防波堤4,850m及び南防波堤5,500mから成る。現在、ルーマニア政府、欧州開発銀行及びPHAREによる共同出資により、1998年から北防波堤4,850mの改修及び南防波堤5,500mの新規建設事業が進められている。さらに、ルーマニア政府は北防

波堤の延伸事業(1,050 m)を計画しているが、資金調達めどはない。南港地区では、穀物貨物や鉱物資源が連結バージ船舶によって黒海―ドナウ運河まで輸送されるため、北港防波堤の延伸は南港地区における安全なトランジット輸送に貢献すると考えられる。

3-2 コンスタンツァ港の管理・運営制度

3-2-1 港湾管理

1991年から1998年まで、コンスタンツァ港は国の直轄組織であるコンスタンツァ港管理公団により管理されていたが、1998年に同公団がコンスタンツァ港湾管理公社(Constantza Port Authority: CPA)として株式を発行して以来、コンスタンツァ港はコンスタンツァ港湾管理公社により管理され、国営企業及び民間企業により運営されている(実際には、運輸省に帰属する港湾関連公共財について国の承認がなされたあとに、運輸省とコンスタンツァ港湾管理公社とで管理委託契約がなされる予定であり、事前調査の時点では運輸省とコンスタンツァ港湾管理公社の管理委託契約はいまだ締結されていなかった)。現在のところ、コンスタンツァ港湾管理公社の株式は100%国が保有しているが、将来的には株式の51%を国が保有し、49%を一般公開する予定となっている。コンスタンツァ港湾管理公社の主要業務は、①港湾開発計画の立案・実施、②港湾施設、臨港道路、臨港鉄道及び航行援助施設の維持管理、③電力、燃料、水及び電気通信の供給、④消防活動、汚染対策、下水・衛生施設などの特殊サービスである。コンスタンツァ港湾管理公社は約1,400人の職員を雇用し、運輸大臣が設置する管理評議会(Administrative Board)により運営されている。管理評議会は大蔵省、運輸省、コンスタンツァ港湾管理公社出身の評議員を含む9名の評議員により構成される。管理評議会の主要業務は、1)コンスタンツァ港、マンガリア港及びミディア港の開発戦略、2)商業戦略及び商業政策、3)年間予算及び資本運用、4)全港湾関係事項の運輸大臣報告である。コンスタンツァ港湾管理公社の組織図を図3-2-1に示す。

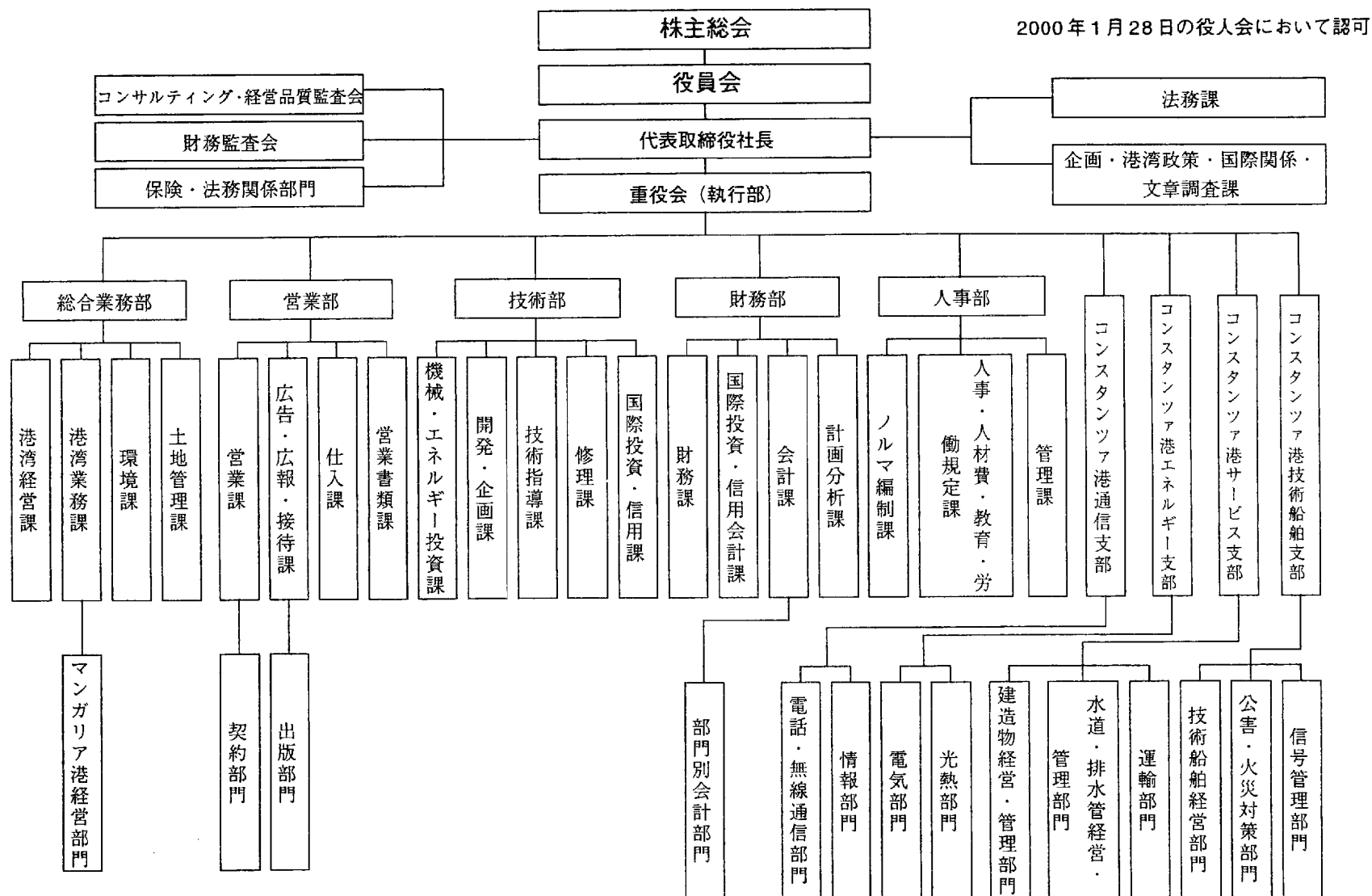


図 3-2-1 コンスタンツァ港湾管理公社組織図

Source：コンスタンツァ港湾管理公社

3-2-2 港湾運営

コンスタンツァ港では、3交代制により365日、24時間の港湾運営が行われている。ルーマニア運輸省は、競争原理の導入による港湾サービスの効率化・高質化を目的に、コンスタンツァ港管理公団が設立された1991年から、コンスタンツァ港管理公団(公社)の所掌業務の段階的な民営化を図っている。コンスタンツァ港管理公団が設立された1991年には、港湾運送事業が民営化され14の港湾運送事業会社が設立された。現在、港湾運送事業会社14社のうち3社は100%民営化されており、残りの11社については民間に移行中(いまだ国が50%以上の株式を保有)。コンスタンツァ港湾管理公社が設立された1998年以降は、港湾浚渫業務、廃棄物収集業務、港湾警備業務などが民間企業に移管されている。コンスタンツァ港の港湾運送事業社は埠頭別ではなく、石油、石炭、穀物、鉱産資源などの品目ごとに専門の港湾運送事業者が数社あり、各分野で競争原理が機能している。各港湾運送事業者はコンスタンツァ港湾管理公社に埠頭・倉庫のリース料金を支払い、荷役機械などは自らの資本で整備している。埠頭リース料金及び倉庫リース料金は、黒海沿岸・欧州諸港の港湾諸料金を考慮したうえで運輸省及びコンスタンツァ港湾管理公社が設定し、管理評議会で承認される。このようにコンスタンツァ港における港湾運営は、積極的に民間企業に移管されつつある。なお、コンスタンツァ港における民営化(Commercialization)については、英国コンサルタント会社GIBBが“Romanian Commercialization Enhancement Program”を策定するために“Constantza Port Reality Book”を取りまとめ中であるので、これが大きく参考になるものと思慮される。コンスタンツァ港の港湾運送事業者一覧を表3-2-1に示す。

3-2-3 港湾料金

2000年4月1日以降、コンスタンツァ港湾管理公社が提示する港湾料金を表3-2-3に示す。船社などの港湾利用者が支払う港湾諸料金としては表3-2-3以外に、港湾運送事業者に対して支払う港湾料金(荷役料金など)がある。各港湾運送事業者は、複数オペレータ間の競争のもとに、独自に港湾料金を設定している。各港湾運送事業者は、政令22号第13条により、港湾管理者(コンスタンツァ港湾管理公社)に報告する義務がある。

3-2-4 港湾諸手続きの情報化

船舶がコンスタンツァ港に入港するためには、①入出港手続き、②入官手続き、③税関手続き、④検疫手続き、⑤港湾警備に係る手続き、⑥施設利用許可などの申請が必要となる。諸手続きはすべて海上で実施されるため、港湾諸手続きには多大な時間を要する。このような港湾諸手続きの非効率さが港湾利用コストの増加、港湾利用効率の低下を引き起こしていると考えられる。しかしながら、運輸省及びコンスタンツァ港湾管理公社の双方ともに港湾諸手続きの

表 3-2-1 港湾運送事業者一覧

ルーマニア 官報第一部 1999 年 4 月 14 日 154 号

B 運輸省管轄公社・公団

件号	公社・公団名	所在地
0	1	2
1. ルーマニア鉄道会社 (旧国鉄) - SNCFR - RA (独立公社)		ブカレスト市
2. 鉄道施設会社 - CFR - SA (株式会社)		ブカレスト市
3. 貨物鉄道会社 - CFR - Marfă - SA		ブカレスト市
4. 旅客鉄道会社 - CFR - Călători - SA		ブカレスト市
5. 鉄道管理サービス会社 - SMF - SA		ブカレスト市
6. 鉄道施設管理会社 - SAAF - SA		ブカレスト市
7. ブカレスト地下鉄管理会社 - Métrorex (RA)		ブカレスト市
8. ブカレストオトベニ国際空港会社 - Aeroportul International Bucuresti-Otopeni - SA		オトベニ町
9. ブカレストバナエサ国際空港会社 - Aeroportul International Bucuresti-Băneasa - SA		ブカレスト市
10. コンスタンツァ国際空港会社 - Aeroportul International Constanta - SA	ミハイル・コガルニチュエヌ町	
11. ティミショアラ国際空港会社 - Aeroportul International Timisoara - SA		ティミショアラ市
12. 航空交通管理会社 - Administratia Serviciilor de Trafic Aerian ROMATSA - (RA)		ブカレスト市
13. 民間航空公団 - RA		ブカレスト市
14. ルーマニア航空会社 - TAROM - SA		ブカレスト市
15. 船舶登録・登記管理会社 - Registrul Naval Roman - (RA)		ブカレスト市
16. コンスタンツァ港湾管理会社 - Administratia Porturilor Maritime Constanta - SA		コンスタンツァ市
17. 運河管理会社 - Administratia Canalelor Navigabile - SA		コンスタンツァ市
18. 船舶無線電信会社 - Radionav - SA		コンスタンツァ市
19. ドナウ川管理会社 - RA		ガラツィ市
20. ドナウ川海港管理会社 - Administratia Porturilor Dunării Maritime - SA		ガラツィ市
21. ドナウ川川港管理会社 - Administratia Porturilor Dunarii Fluviale - SA		ジュルジュ市
22. ルーマニア道路管理公団 - Administratia Națională a Drumurilor din România - (RA)		ブカレスト市
23. ルーマニア車輛登録・登記管理会社 - Registrul Auto Român - (RA)		ブカレスト市
24. スリナフリーゾーン管理公団 - Administratia Zonei Libere Sulina - RA		スリナ市
25. 南コンスタンツァフリーゾーン管理公団 - Administratia Zonei Libere Constanta-Sud - RA		コンスタンツァ市
26. ブライラフリーゾーン管理公団 - Administratia Zonei Libere Brăila - RA		ブライラ市
27. ガラツィフリーゾーン管理公団 - Administratia Zonei Libere Galati - RA		ガラツィ市
28. ジュルジュフリーゾーン管理公団 - Administratia Zonei Libere Giurgiu - RA		ジュルジュ市

添付表 3

交通手段と燃料消費

交通手段分類	車輛の分類	最高台数	台毎最高消費量 (リットル/月)
私有交通手段	自動車	6	300
公有交通手段	自動車	3	300

全台数に対する年間規定消費量内であれば、幾台が台毎消費量を超えても、消費量を超えたことには当たらない

Source: コンスタンツァ港湾管理公社

表 3-2-2 港湾利用料金(1)

料金分析課

2000年4月1日から他会社に対して適用されるコンスタンツァ港湾管理会社の
ドール料金表

1. 基本的料金

1. 入港料

番号	船舶種類	単位	0-5000	5001-10000	10001-20000	20001-40000	40000を超える
1	積み荷船 (バルク)	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
2	油送船 (タンカー)	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
3	貨物船 (カーゴ)	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
4	コンテナ運搬船	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
5	カーフェリー船	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
6	旅客船	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
7	軍船	\$/UTB	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
8	漁獲船	\$/UTB	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
9	運河用平底荷船	\$/トン	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05

2. 係留料

番号	船舶種類	単位	0-5000	5001-10000	10001-20000	20001-40000	40000を超える
1	積み荷船 (バルク)	\$/1メートル/1日	3.00	4.70	8.00	9.00	21.00
2	油送船 (タンカー)	\$/1メートル/1日	6.50	12.50	14.30	26.60	28.20
3	貨物船 (カーゴ)	\$/1メートル/1日	2.10	2.50	3.70	3.80	20.00
4	コンテナ運搬船	\$/1メートル/1日	6.00	6.80	7.00	7.20	8.00
5	カーフェリー船	\$/1メートル/1日	4.70	5.80	6.20	6.80	7.00
6	旅客船	\$/1メートル/1日	8.50	8.50	8.50	8.50	8.50
7	軍船	\$/1メートル/1日	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50
8	漁獲船	\$/1メートル/1日	17.50	17.50	17.50	17.50	17.50
9	運河用平底荷船	\$/1メートル/1日	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63

3. 内港使用料

番号	船舶種類	単位	0-5000	5001-10000	10001-20000	20001-40000	40000を超える
1	積み荷船 (バルク)	\$/1メートル/1日	0.45	0.40	0.37	0.35	0.34
2	油送船 (タンカー)	\$/1メートル/1日	0.55	0.52	0.48	0.45	0.44
3	貨物船 (カーゴ)	\$/1メートル/1日	0.32	0.24	0.19	0.16	0.15
4	コンテナ運搬船	\$/1メートル/1日	0.28	0.22	0.18	0.16	0.15
5	カーフェリー船	\$/1メートル/1日	0.26	0.22	0.16	0.14	0.13
6	旅客船	\$/1メートル/1日	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
7	軍船	\$/1メートル/1日	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
8	漁獲船	\$/1メートル/1日	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
9	運河用平底荷船	\$/1メートル/1日	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20

表 3 - 2 - 2 港湾利用料金 (2)

II. 港湾サービス一般料金

番号	料金名	単位	料金
1	技術船舶使用料	\$/UTB/日	0.10
2	港湾役務提供用船舶 (ひき舟) 使用料	\$/馬力/日	0.02
3	旅客乗降施設使用料	\$/客数	1.47

III. 港内施設・サービス使用料

番号	施設・サービス名	単位	料金
1	岸壁からの給水	\$/1 トン	4.51
2	平底船への給水*	\$/1 時間	171.00
3	給電	\$/1 キロワット	0.65
4	ゴミ回収	\$/1 日	20.32
5	旅客船ゴミ回収	\$/1 日	100.00

*買った水量の料金が追加される

IV. 港湾設備使用 (レンタル) 料

番号	料金名	単位	料金
1	公害防止肢使用料	\$/1 メートル/1 日	1.50
2	水上クレーン・レンタル料		
3	a) 100 トンクレーン — 作業の場合	\$/1 時間	220.00
4	— 停止の場合	\$/1 時間	165.00
5	b) 50 トンクレーン — 作業の場合	\$/1 時間	118.00
6	— 停止の場合	\$/1 時間	87.00
4	引き舟レンタル料	\$/1 時間	405.00
5	モーターボート・レンタル料	\$/1 時間	33.00
6	廃棄物 (タンク・船底湾曲部・あか・排水) 引取料*	\$/1 トン	27.00

*利用者の都合で船舶待機の間 33\$/1 時間の料金が適用される

IV. 他料金

IV. 他料金

番号	料金名	単位	料金				
1	大型トラック駐車料	\$/1 台/1 日	1.50				
2	MOL IS 棟施設使用料						
	オフィス	\$/1 平方メートル/月	4.80				
	附属室・別館	\$/1 平方メートル/月	1.40				
3	トミス観光港使用料						
	岸壁での船舶の長さ	1 日	1 週	1 カ月	3 カ月	6 カ月	1 年間
	7メートル未満	4	20	81	242	483	726
	7	5	30	121	363	726	1,089
	8	7	40	161	484	968	1,452
	9	8	50	202	605	1,210	1,814
	10	10	60	242	726	1,452	2,177
	11	11	71	282	847	1,693	2,540
	12	13	81	323	968	1,935	2,903
	13	16	91	363	1,089	2,177	3,266
	14	17	101	403	1,209	2,419	3,629
	15	19	111	444	1,330	2,661	3,992
	16	20	121	484	1,452	2,903	4,355

表 3 - 2 - 2 港湾利用料金 (3)

17	22	131	524	1,572	3,144	4,717
18	24	141	564	1,693	3,387	5,080
19	26	151	605	1,814	3,629	5,443
20	27	161	645	1,935	3,870	5,806
21	29	171	685	2,056	4,113	6,169
22	30	181	726	2,177	4,355	6,532
23	32	192	766	2,298	4,596	6,895
24	34	202	806	2,419	4,838	7,258
25	36	212	847	2,540	5,080	7,620

25メートルを超えるヨットの場合1メートル毎に次の料金が追加される：

- ・1日 9\$/1メートル
- ・1週 17\$/1メートル
- ・1カ月 50\$/1メートル
- ・3カ月 101\$/1メートル
- ・6カ月 134\$/1メートル
- ・1年間 168\$/1メートル

ヨットの長さには船首・船尾を超えるものも計算される

水電料金は上の料金に含まれる

2000年4月1日から適用されるコンスタンツァ港湾管理会社のレイ料金表

番号	料金名	単位	料金
経済競争監査庁認可料金			
1	電気公社から購入した電気の中から低圧への変圧料	レイ/キロワット	137
2	電気公社から購入した電気の分配料金	レイ/キロワット	61
3	軽油からの熱量分配料金	レイ/ギガカロリー	302,260
4	重油からの熱量分配料金	レイ/ギガカロリー	405,880
5	電気公社から購入した熱量の分配料金	レイ/ギガカロリー	159,150
6	港内の他会社への配水料金	レイ/立法メートル	1,033
7	ルーマニア国籍船舶への配水料金	レイ/立法メートル	2,350
8	排水料金	レイ/立法メートル	2,009
他料金			
9	岸壁からの電線と電気測定器レンタル料金	レイ/1日	5,047
10	スキマー・レンタル料金	レイ/1時間	559,400
11	船橋レンタル料金	レイ/1時間	563,600
12	測量器使用料金	レイ/回数	22,400
13	火災時協定による消防隊への依頼料金	レイ/千平方メートル	80,000
14	消防隊への相談依頼料金	レイ/1時間	385,500
15	排水管洗浄機レンタル料金	レイ/1時間	1,069,000
16	19AB4型コンクリート・ミクサー・レンタル料金	レイ/1時間	300,300
17	8.5トンRomanトラック・レンタル料金	レイ/1時間	262,500
18	35.8トンIVECOトラック・レンタル料金	レイ/1時間	279,800

表 3 - 2 - 2 港湾利用料金 (4)

19	RomanPT15HM 型延長肢クレーン・レンタル料金	レイ/1 時間	269,700
20	一般貨物トラック・レンタル料金	レイ/1 時間	263,000
21	電線用 PRAM 型検査器レンタル料金	レイ/1 時間	236,000
22	AM5 型クレーン・レンタル料金	レイ/1 時間	207,200
23	ARO-D127 型 4W 自動車レンタル料金	レイ/1 時間	152,400
24	TV 型ワゴン・レンタル料金	レイ/1 時間	155,500
25	Dacia 型自動車レンタル料金	レイ/1 時間	147,000
26	P802 型グラブ・バケット無限軌道車レンタル料金	レイ/1 時間	286,000
27	5 トン Caterpillar リフト付くい打ち機レンタル料金	レイ/1 時間	358,000
28	IFRON 型前方積み上げ機レンタル料金	レイ/1 時間	177,000
29	UMT5 型リフト付くい打ち機レンタル料金	レイ/1 時間	141,600
30	RO14 型ローラー機レンタル料金	レイ/1 時間	133,000
31	多目的用延長肢付台レンタル料金	レイ/1 時間	68,700
32	CaterpillarIT146 型積み上げ機レンタル料金	レイ/1 時間	515,500
33	排水トラック・レンタル料金	レイ/1 時間	260,700
34	圧縮ポンプ・レンタル料金	レイ/1 時間	120,000
35	R10215 水槽車レンタル料金	レイ/1 時間	245,000
36	CEA 型検査車レンタル料金	レイ/1 時間	246,700
37	溶接機レンタル料金	レイ/1 時間	114,500
38	U650 型トラクター・レンタル料金	レイ/1 時間	173,300
39	材料積み上げ台車レンタル料金	レイ/1 時間	39,500
40	45Ah/60Ah/80Ah 蓄電池修繕・検査・蓄電料金	レイ/回数	246,700
41	110Ah/150Ah/1800Ah 蓄電池修繕・検査・蓄電料金	レイ/回数	248,600
42	自動車ライト調節料金	レイ/回数	58,000
43	車輪調節料金		
	a) 外車		
	ー前車輪	レイ/車輪数	179,700
	ー後車輪	レイ/車輪数	124,000
	b) 国産車		
	ー前車輪	レイ/車輪数	124,000
	ー後車輪	レイ/車輪数	96,000
44	普通乗用車車輪調節料金	レイ/車輪数	34,800
45	4W 自動車車輪調節料金	レイ/車輪数	62,600
46	Volkswagen 型マイクロバス・レンタル料金		
	ー使用時間	レイ/1 時間	280,400
	ー停止時間	レイ/1 時間	154,200
47	タイヤの外輪取付け・取出し料金	レイ	5,574
48	車輪取付け・取出し料金	レイ	6,311
49	タイヤの中圧検査・修整料金	レイ	656
50	タイヤの (パッチを使った) パンク修理料金	レイ	13,307
51	チューブの (パッチを使った) パンク修理料金	レイ	13,607
52	(和硫式) タイヤ修理料金 (突き穴の場合)	レイ	6,967
53	(和硫式) タイヤ修理料金 (切り傷の場合)	レイ	19,509
54	タイヤ修理料金+バルブ取付け料金	レイ	20,246
55	(和硫式) チューブ修理料金	レイ	19,918
56	オイル交換料金 (フィルターなしの場合)	レイ	12,459
57	オイル交換料金 (フィルター有りの場合)	レイ	20,984
58	RABA 型・トラクター型エンジンのインジェクター・ポンプ調節料金	レイ	131,967
59	RABA 型・トラクター型エンジンのインジェクター・ポンプ修理料金	レイ	263,934

表 3 - 2 - 2 港湾利用料金 (5)

60	インジェクター修理・洗浄料金	レイ	65,574
61	洗車料金	レイ/1 台	33,000
62	1.5 トン以下のマイクロバス・4W 自動車洗車料金	レイ/1 台	39,000
63	1.5 トン以上のマイクロバス・トラクター・特別車・機械洗車料金	レイ/1 台	52,000
64	12 メートル以上のバス・トラック・他車洗車料金	レイ/1 台	87,000
65	港内領域（土地）使用料金	レイ/1 平方メートル/月	350
66	ホーム・レンタル料金	レイ/1 平方メートル/月	3,700
67	管理的目的用施設レンタル料金	レイ/1 平方メートル/月	52,000
68	Bursa Veche 棟レンタル料金	レイ/1 平方メートル/月	92,500
69	倉庫レンタル料金	レイ/1 平方メートル/月	20,800
70	レンタルされている施設の掃除料金（使用者分）	レイ/1 平方メートル/月	6,600
71	レンタルされている施設の守備料金（使用者分） - P2 棟	レイ/1 平方メートル/月	2,870
	- Mol III 棟	レイ/1 平方メートル/月	7,500
72	広告代（面積による）		
	0.5 平方メートル以下	レイ/1 年間	67,300
	0.5 平方メートル以上 1 平方メートル以下	レイ/1 年間	134,600
	1 平方メートル以上 2 平方メートル以下	レイ/1 年間	201,800
	2 平方メートル以上 3 平方メートル以下	レイ/1 年間	471,000
	3 平方メートル以上 5 平方メートル以下	レイ/1 年間	1,211,300
	5 平方メートル以上	レイ/1 年間	403,700
73	港内他社の看板料金（面積による）		
	0.5 平方メートル以下	レイ/1 年間	20,200
	0.5 平方メートル以上 1 平方メートル以下	レイ/1 年間	33,600
	1 平方メートル以上 2 平方メートル以下	レイ/1 年間	47,100
	2 平方メートル以上	レイ/1 年間	33,600
74	月間使用最低水深測定料金	レイ/1 平方メートル/月	4
75	注文による水界地理学的測定料金	レイ/1 平方メートル/月	88
76	大型トラック駐車料	レイ/1 台数/1 日	80,900
77	A0 サイズ複写料	レイ/1 枚	96,400
78	A1 サイズ複写料	レイ/1 枚	48,800
79	A2 サイズ複写料	レイ/1 枚	23,800
80	A3 サイズ複写料	レイ/1 枚	1,700
81	A4 サイズ複写料	レイ/1 枚	820
82	労働許可書料金	レイ/1 枚	2,000,000
83	コンスタンツァ港内道路使用許可書料金（A1 タイプ）		
	自転車	レイ/1 年間	96,639
	バイク	レイ/1 年間	203,361
	普通乗用車・4W 自動車	レイ/1 年間	521,008
	マイクロバス・小型貨物車	レイ/1 年間	630,252
	バス・トラック・トラクター・台車・クレーン・他種類	レイ/1 年間	1,147,059
	大型トラック	レイ/1 年間	1,554,622
84	コンスタンツァ港内道路使用許可書料金（A2 タイプ）		

表 3 - 2 - 2 港湾利用料金 (6)

	自転車	レイ/1 年間	221,008		
	バイク	レイ/1 年間	461,345		
	普通乗用車・4W 自動車	レイ/1 年間	1,189,076		
	マイクロバス・小型貨物車	レイ/1 年間	1,434,454		
	バス・トラック・トラクター・台車・クレーン・他種類	レイ/1 年間	2,294,958		
	大型トラック	レイ/1 年間	3,442,857		
85	諸官庁・諸機関自動車のための港内道路使用料金	レイ/1 年間	207,563		
86	規定サイズを超えた自動車のための料金	レイ/トン	12,000		
87	フリーパス発行料金	レイ/1 部	7,983		
88	船舶情報・ニュース誌申込料金	レイ/1 部/1 年間	1,434,426		
89	コンスタンツァ港内道路閉鎖許可料金	レイ/1 時間	800,000		
90	レジーレンタル料金	レイ/1 年間	376,500		
91	多目的ホール・レンタル料金	レイ/1 時間	1,900,000		
92	ミディア港内の岸壁クレーン・レンタル料金	千レイ/月	14,895		
93	コンスタンツァ港湾管理会社電話局からのアナログ電話線	レイ/月	410,000		
94	コンスタンツァ港湾管理会社電話局からのデジタル電話線	レイ/月	410,000		
95	データ通信・ファクス線基本料	レイ/月	410,000		
96	使用者施設接続電話線基本料	レイ/月	673,000		
97	64KB/S デジタルチャネル基本料	レイ/月/チャネル	51,800		
98	データ通信線延長料金	レイ/月	678,600		
99	追加電話サービス料金	レイ	32,500		
100	電話本線設置工事料金	レイ	927,000		
101	電話本線の施設外移動料金	レイ	673,000		
102	電話本線の施設内移動料金	レイ	267,700		
103	使用者所有設備接続料金	レイ	344,800		
104	データ通信・ファクス線接続料金	レイ	346,200		
105	64KB/S デジタル・チャネル接続料金	レイ	1,179,000		
106	切断された線の再接続	レイ	44,800		
107	普通無線電話機基本料金	レイ/1 台/月	422,000		
108	Edax 無線電話機基本料金	レイ/1 台/月	793,000		
109	長距離ネットワーク通信料金 (1 分毎)	レイ/1 分	1,250		
110	Orion 型 (固定・携帯用) 長距離無線電話機設置料金	レイ	748,600		
111	MRKII 型携帯用長距離無線電話機設置料金	レイ	555,800		
112	トミス観光港使用料金				
岸壁での船舶の長さ (メートル)	料金 半日	料金 1 日	料金 1 カ月	料金 1 年間	夏期外料金 (月/2) × 5 カ月 (レイ/メートル)
7.00 以下	197	396	11,840	142,110	29,598
7.01-8.00	225	442	13,323	159,310	33,282
8.01-9.00	243	497	14,798	177,413	37,020
9.01-10.00	283	542	16,282	194,610	40,732
10.01-11.00	299	589	17,758	212,714	44,352
11.01-12.00	329	644	19,245	230,817	47,975
12.01-13.00	345	690	20,718	248,014	51,594

表 3-2-2 港湾利用料金 (7)

13.01-14.00	373	741	22,205	266,117	55,216
14.01-15.00	395	786	23,683	283,316	58,835
15.01-16.00	419	860	25,073	300,514	62,456
16.01-17.00	442	883	26,639	319,522	66,078
17.01-18.00	470	938	28,123	336,720	69,697
18.01-19.00	497	985	29,599	354,824	74,223
19.01-20.00	526	1,031	31,081	372,927	76,938
20.01-21.00	542	1,086	32,556	390,125	81,464
21.01-22.00	569	1,131	34,288	408,229	85,084
22.01-23.00	589	1,189	35,482	425,426	88,708
23.01-24.00	624	1,233	36,932	443,529	92,326
24.01-25.00	644	1,283	38,470	461,632	95,948

長さ/岸壁/隻数	=	878.50 メートル
合計支出/1 年間	$182279127 \times 145\%$	= 264,304,734 レイ/1 年間
平均料金： ・ 1 年間	=	300,514 レイ/メートル/1 年間
・ 1 カ月	=	25,073 レイ/メートル/1 カ月
・ 1 日	=	860 レイ/メートル/1 日
・ 半日	=	419 レイ/メートル/半日

25 メートルを超える船舶の場合、1 メートル毎に次の料金が追加される：101 レイ/メートル/半日、244 レイ/メートル/1 日、7405 レイ/メートル/1 カ月、88797 レイ/メートル/1 年間、夏期外に 18747 レイ/メートル。

- ・ 船舶の長さには帆を固定する延長棒の長さも含まれる
- ・ 夏期外期間は 11 月 1 日から 3 月 31 日までと定める
- ・ 港内において配水・配電設備が設けられている
- ・ 上の料金には水・電気料は含まれていない

料金分析課

V Nasta 会計士

2000 年度料金

Source : Annual Report 1999, page 14-16, コンスタンツァ港湾管理公社

情報化に係る計画・構想を策定していない。現在のところ、コンスタンツァ港湾管理公社が、事務の電算化事業（BULL、事業費は約 200 万 U S ドル、仏系コンサルタントにより実施中）を実施中で、港湾統計管理の電算化を図っている程度である。したがって、コンスタンツァ港における港湾諸手続きの情報化は本格調査の大きなテーマの一つとなるものと思慮される。

3-2-5 コンスタンツァ港湾管理公社の財政状況

1999 年におけるコンスタンツァ港湾管理公社の総収入は、2,635 万 682 U S ドル（約 28 億 7,000 万円、1 U S ドル＝109 円）であり、総売上高は 630 万 1,771 U S ドル（約 6 億 9,000 万円、1 U S ドル＝109 円）であった。コンスタンツァ港湾管理公社の収入内訳（1999 年）及び収支決算表（1999 年）を表 3-2-3 及び表 3-2-4 に示す。

表 3-2-3 コンスタンツァ港湾管理公社の収入内訳（1999 年）

項 目	収入額	
Port Service	20,203 U S ドル	76.7%
Financial Revenues	1,574 U S ドル	6.0%
Electric Power & Telecommunication	3,478 U S ドル	13.2%
Special Revenues	550 U S ドル	2.1%
Other	546 U S ドル	2.0%
Total	26,351 U S ドル	100.0%

Source : Annual Report 1999, コンスタンツァ港湾管理公社

コンスタンツァ港湾管理公社の年間事業費の 50% 以上は国からの補助金、そのほかはコンスタンツァ港湾管理公社独自の収入や外国からの借入金となっている。外国からの借入金には、円借款のほか、E U 無償資金（PHARE ※）などがある（※ E U 加盟を希望する諸国が、E U 加盟のための諸条件を整えるために、E U が無償援助する資金）。

3-2-5 コンスタンツァ・フリーゾーン

ルーマニア政府は、外国資本の投資及び海外技術の導入を促進し、経済発展の起爆剤とすべく、コンスタンツァ南港地区においてフリーゾーン（Constantza South and Basarabi Free Zone : C S B F Z）を設置した（1993 年 8 月）。1995 年に F Z 法成立、1996 年にコンスタンツァ港湾管理公社からフリーゾーン管理公団へ土地の所有権及び管理運営権が譲渡された。フリーゾーンはルーマニア政府財源に直接寄与しないが、雇用機会の創出、関連産業の立地などの効果が期待されている。フリーゾーンでは、以下の経済活動が行われている。

表 3-2-4 コンスタンツァ港湾管理公社の収支決算(1999年)

損益計算書

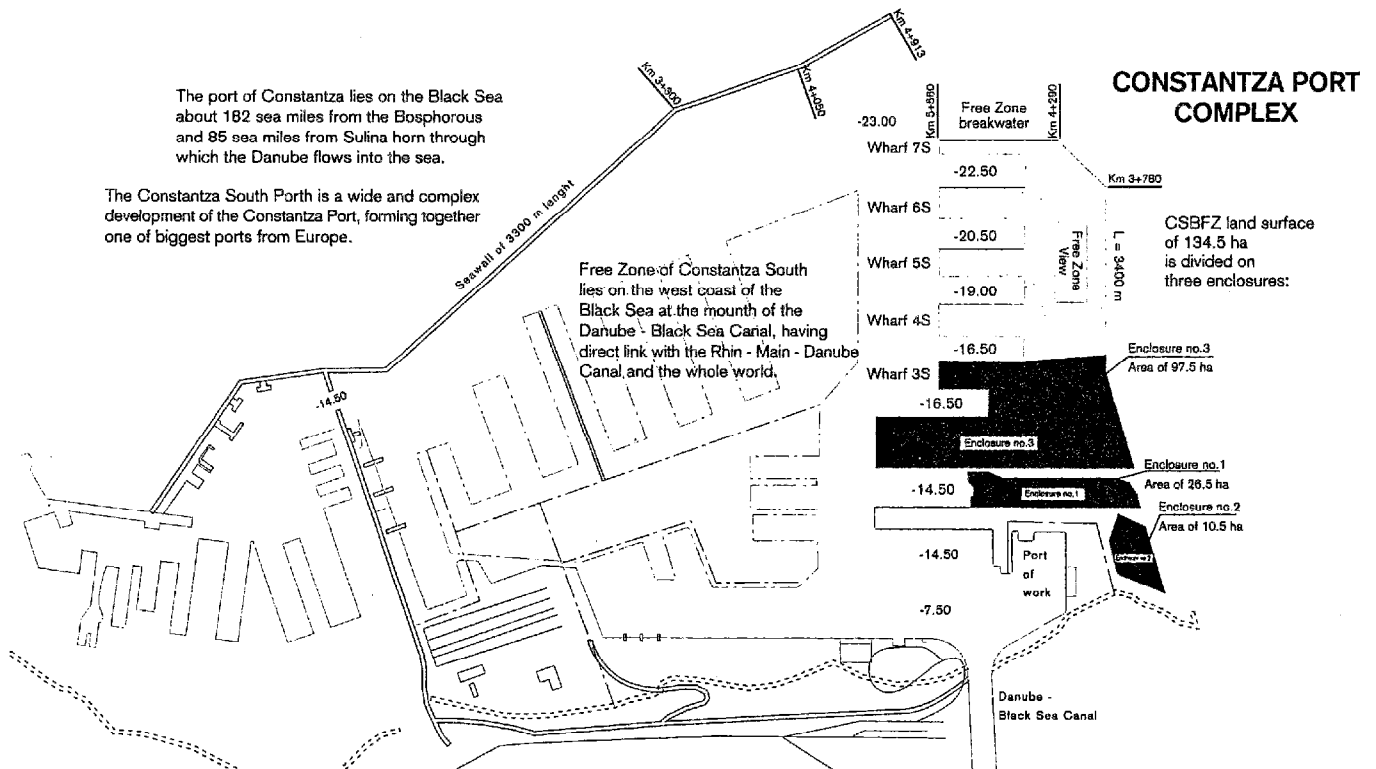
1999年12月31日迄(期首から繰越し)

単位:1000レイ

20	件名		件号	期間	
				前期	(終了した) 今期
	A		B	1	2
経常収益	商品販売収入(707項目)		01		
	生産販売収入 (701+702+703+704+705+706+708項目)		02	69,241,947	364,532,733
	売上(1+2)		03	69,241,947	364,532,733
	在庫生産による収入(711項目)	貸方	04	182,557	448,961
		借方	05		
	固定資産による収入(721+722項目)		06		1,434,042
	期間中総合売上(2+4-5+6)		07	69,424,504	366,415,736
	経常用補助金による収入(741項目)		08	2,673,189	
	経常による他収入(754+758項目)		09	831,029	1,951,302
	経常手数料による収入(781項目)		10		3,795,467
	I. 合計経常収入(3+4+5+6+8+9+10)		11	72,928,722	372,162,505
経常支出	仕入のための支出(607項目)		12		
	材料仕入支出(600項目)		13		
	消耗品費(601項目)		14	1,801,424	14,320,699
	水電費(605項目)		15	9,682,767	51,517,320
	他支出(602+603+604+606+608)		16	407,564	2,590,951
	合計支出(13+14+15+16)		17	11,891,755	68,428,970
	外注加工費(611+612+613+614+621+ 622+623+624+625+626+627+628項目)		18	15,189,548	62,624,845
	税金・他支払による支出(635項目)		19	346,865	5,635,530
	給料手当・賃金支出(641項目)		20	15,625,287	69,735,438
	福利厚生費・損害保険料支出(645項目)		21	5,993,169	34,716,034
	合計労務費(20+21)		22	21,618,456	104,451,472
	経営のための他支出(654+658項目)		23	4,071,804	9,231,816
	負債償却金のための支出(681)		24	1,756,029	46,797,218
	II. 合計経常支出(12+17+18+19+22+23+24)		25	54,874,457	297,169,851
A	経常損益		26	18,054,265	74,992,654
	経常利益(11-25)				
	経常損失(25-11)		27		
	営業外収益(761+762+763項目)		28	51,889	14,311
	有価証券による収入(764項目)		29		
	為替レート差による収入(765項目)		30	7,234,671	16,601,765
	諸利息による収入(766項目)		31	1,135,762	2,054,032
	他特別収入(767+768項目)		32	12,455	5,504,684
	他手数料による収入(786項目)		33		
	III. 合計特別収入(28+29+30+31+32+33)		34	8,434,777	24,174,792

Source: コンスタンツァ港湾管理公社

- 国内・国外、個人・法人を問わず、CSBFZ管理公団から免許を受けた者であれば、いかなる経済主体でもフリーゾーンで経済活動を実施することができる。現在、フリーゾーンに立地する企業はルーマニア国内企業のみならず、外国企業や外国企業とルーマニア企業の合弁企業も立地しており、その割合は、現在のところ、65%、17%、18%である。フリーゾーン第1地区は既に立地企業で満杯、フリーゾーン第2地区は3分の1が立地している。フリーゾーン第3地区は未整備。また、フリーゾーンにおける経済活動には、最長50年までの土地及び施設のリース契約を前提に、関税及び消費税の免除、所得税及び付加価値税の免除、資本及び利益の本国移転などの優遇措置が与えられる。例えば、原材料を輸入して商品を生産する場合、原材料の輸入に対する税金、付加価値税や経済活動によって得られた利益に対する税金は一切の免除される。ただし、契約後、5年以内に投資が開始されなければ、契約は白紙に戻る仕組みとなっている。フリーゾーンの位置図及び施設概要を図3-2-2、表3-2-5に示す。



Source : Constantza Port and Free Zone. C S B F Z 管理公司

表 3-2-5 フリーゾーン施設概要

	No.1地区	No.2地区	No.3地区
面 積	27ha	10ha	140ha
岸 壁	岸壁No.119、－13.5m	－	岸壁No.120-123、－14.5m 岸壁No.126-131、－16.5m
用 途	・製品の貯蔵 ・製品加工及び集配 ・その他産業活動	・工業生産 ・商業活動 ・商品取引	・埠頭用地(穀物、石油、化学製品、コンテナ) ・商業活動、・工業生産 ・製品の貯蔵

Source : Constantza Port and Free Zone, C S B F Z 管理公団

フリーゾーンは、ルーマニア運輸省フリーゾーン庁(Free Zones Agency, Ministry of Transport)の管轄のもとに、国営企業であるC S B F Z 管理公団(国営企業)によって管理運営がなされている。フリーゾーン用地の所有権及び管理運営権は、コンスタンツァ港湾管理公社からフリーゾーン管理公団(国営企業)に譲渡されている。C S B F Z 管理公団の主要業務は、①フリーゾーン開発戦略の策定、②土地の貸付、フリーゾーン内の既存施設の賃借、③道路、鉄道、航行援助施設などの関連インフラの維持管理、④通信、電力、生活用水の供給、⑤消防活動、汚染対策、衛生管理である。

3-2-6 コンスタンツァ自由貿易港構想

ルーマニア運輸省では、現在、コンスタンツァ港全体を自由貿易港とする構想を検討中である。本構想は、輸出入する際の関税に係る考え方で、コンスタンツァ港全体を保税地域にするというものである。現在、コンスタンツァ港では保税地域が指定されていないため、輸出入貨物については、貨物が荷役される前に税関職員が船内に立ち入り関税手続きが行われている。また、トランジット貨物については、輸出入業者が補償金(Deposit)をコンスタンツァ港に一時的に預ける必要がある。このような現状にかんがみ、ルーマニア運輸省は、コンスタンツァ港が自由貿易港となることにより、煩雑な関税手続きが解消され、船舶の港湾利用効率が向上されることを目的に、関連法案を作成しているところである。右法案は予定では、2000年夏に閣議決定される予定である。コンスタンツァ港に保税機能が付加されれば、国際的に遜色のない国際貿易港としてコンスタンツァ港の競争力は高まると考えられる。